

南山だより



東京都港区元麻布 3-8-15 TEL03(3403)5773 FAX03(3408)4532 MAIL:nanzan-es@minato-ky.ed.jp

教師は授業で勝負する

～ 子供や保護者からの信頼を得るために重要なこと ～

4月と5月の学校は子供と向き合う時間を確保し、互いの信頼関係を築く時期にしています。4月は各学級で「クラス目標」や「学びのスタンダード」、「学級や学校のきまり」について子供と担任、専科が話し合っていました。学級・学年・専科が1年間の目指す方向性を互いに確かめることは、とても大切なことです。

私が毎日の授業参観で特に注目していることは「子供が安心して発言や発表ができているか」「子供一人一人が友達の考えや意見を受け止め、みんなで学びを広げて深めているか」「子供と教員の表情が生き生きしているか」などです。参観を通じて南山の子供は、話の聴き方がとても上手です。これは子供と教員の関係がしっかり築かれている証拠であり、うれしいことです。もちろん、教員の話し方が丁寧で分かりやすいことも、その要因のひとつです。

子供の学校生活の大半は「授業」が占めています。子供が先生の授業は「分かる」「できる」「楽しい」と実感し、いつでも安心して相談できる関係が築かれていれば、子供と保護者は学校への信頼度を増していきます。では子供にとって「できる」「分かる」「楽しい」授業とはどのような授業でしょうか。教員は下記のチェックリストを参考にして、日々の授業の振り返りをしています。「発問と説明が混ざり、分かりにくかった」「ここであの子の意見を取り上げて、他の子にもっと考えさせるべきだった」「まとめの工夫が足らなかった」など、授業の振り返りは様々です。でも、この振り返りにより、自分の授業の課題が分かり、次への授業改善につなげています。半数が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」授業は子供にとって、安心安全な学習活動＝授業ではなくなります。

引き続き、PDCAサイクルを活用し、本校は、授業で勝負をする組織を目指していきます。保護者の皆様におかれましては、5月の学校公開の際に、このチェックリストを参考にしてください。

番号	診断項目	当てはまる	だいたい 当てはまる	あまり 当てはま らない	当て はまらない
1	授業の始めに学習のねらいを児童に明確に示している。	4	3	2	1
2	児童の反応や変容に気づき、授業に生かしている。	4	3	2	1
3	児童の発言や行動を共感的に受け止めている。	4	3	2	1
4	教材・教具を効果的に活用している。	4	3	2	1
5	発問の工夫をしている。	4	3	2	1
6	学習のねらいにそった学習活動を展開している。	4	3	2	1
7	分かりやすい説明をしている。	4	3	2	1
8	効果的な板書をしている。	4	3	2	1
9	学習のねらいに基づいたまとめをしている。	4	3	2	1
10	授業のまとめを工夫している。	4	3	2	1

★チャレンジタイムについて 課題が終わらない等、必要に応じて休み時間や放課後に補充学習(チャレンジタイム)を行います。下校時刻などの変更について、お知らせする場合がありますのでご承知おきください。

一人一人に寄り添った生活指導を行っています

生活指導主任

本校では、毎月行っている「学校生活アンケート」を通して、子供一人一人の生活の様子や友達関係や学習などで感じる不安や悩みをいち早く受け止めることを大切にしています。担任はアンケートに書かれた事柄に、時間を空けず解決しなければいけないことがあれば、詳しく思いや状況の聞き取りを行います。そして、関係する子どもや教師、保護者を交えて解決に向けて話し合いや指導を行います。なお、全児童のアンケート結果と担任の聞き取った内容は、校長、副校長、生活指導主任はもちろん、内容に応じては、学校全体で共有し、全職員で子供たちを見守ることができる体制を作り、迅速な対応につなげていきます。

子供たちの安全で健やかな生活を護るためには、ご家庭や地域の皆様との連携が本当に大切です。ご家庭や地域において、子供たちの生活や遊び、人間関係等に関してご心配なこと、お気づきになったことがありましたら、ご遠慮なく学校に相談していただくと幸いです。また、子供の心身に関わる諸問題に関しては、スクールカウンセラーや港区立教育センター等の相談窓口への相談も可能です。

本校では、皆様との連携を一層強めて、子供たちが安心安全な生活を送ることができるよう、本年度も、職員一同精一杯努めてまいります。

校内研究について

研究主任

本校では、3年間にわたって「南山スタイル」の取り組みを中心に校内研究を進めてまいりました。

「南山スタイル」とは、「考え」「広げ」「深める」授業作りのための実践です。「学習の進め方」「板書」「相互交流」「ノート」「学習のルール」という5つのスタイルを全学年で全ての授業に取り入れ、「自ら学び考え、判断し、表現できる子」の育成を目指しています。

3年間の実践を通して、この「南山スタイル」は校内全体に浸透してきました。この中でも、友達との交流活動に力を入れて取り組んできました。児童アンケートからは、友達の意見を聞いたり、自分の考えを発表したりすることに意欲的な様子が読み取れます。そこで、今年度はさらに焦点化したテーマで学びを深めていきたいと考え、研究主題を『主体的・対話的な学習活動を通して、学びに向かう力の育成を目指して』～思考力・判断力・表現力を育む授業づくり～と決定しました。

「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」そして、「その学びを生活の中にどう生かしていくのか」を、私たちは常に考えています。教師主導で「教える」教育から、子供が主役となって「学ぶ」という視点で、日々の授業作りを行い、子供たちの学びに向かう力を育てていきます。

5月行事予定

6日(金)	移動教室保護者説明会(オンライン)(6年)	24日(火)	学校公開(偶数)セーフティ教室
9日(月)	委員会活動	26日(木)	児童・生徒の学力向上を図るための調査(6年)
11日(水)	尿検査2次	30日(月)	宿泊前検診(6年)
12日(木)	避難訓練 煙体験(2, 4年)	31日(火)	箱根移動教室(6年)
20日(金)	租税教室(6年)		
23日(月)	学校公開(奇数)		

5月生活目標

自ら考えて行動しよう

